

幌延深地層研究計画「令和4年度調査研究成果」報告会 挨拶

令和5年7月31日

幌延深地層研究センター所長 佐藤 稔紀

- 幌延深地層研究センター所長を務めております佐藤と申します。
- 本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画「令和4年度調査研究成果」の報告会に足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。
- まずは、日頃より当機構の業務につきまして、ご支援・ご協力を賜りましておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- 令和4年度の成果につきましては、今年4月の「令和5年度調査研究計画」の説明会におきましても、その概要についてご説明致しましたが、今般、成果報告書にとりまとめましたので、本日は、改めて、昨年度の成果についてご説明させていただきます。
- なお、令和4年度も着実に成果をあげ、計画どおりに調査研究が実施できております。これも、ひとえに幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。
- 本日の報告会では、昨年度の成果からいくつかのトピックにつきまして、研究を担当している若手の研究者から報告させていただきます。
- 私どもが研究開発を進めるうえでは、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「最終処分場にはしない」といった約束をしっかりと守りながら、最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。
- また、先月28日に深度350m調査坑道でメタンガスが発生し、電源を遮断した事案について、ご心配をお掛けしました。すぐさま復旧し、人や設備への影響が無いことを確認して作業を再開しています。
- 今年の秋には立坑掘削を再開する予定です。より一層安全に注意を払いながら、研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。